

（2）病院・診療所等が行う中重度者の 医療ニーズに関する調査研究事業 （結果概要）（案）

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

1. 調査の目的

今後、慢性疾患や認知症を有する医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の増加が見込まれる中で、病院・診療所に入院する患者について、在宅医療等を活用し地域でどのように受け止めていくかが課題となっている。

本調査事業においては、慢性期医療を担う病院・診療所で行われる医療や、経管栄養・喀痰吸引を必要とする患者に対しての看護・介護など、病院・診療所における医療提供の状況を把握する。

併せて訪問看護ステーション等の提供する中重度者向けのサービスの状況等について調査を行い、これらの患者が住み慣れた地域で生活していくために必要な機能を明確化し、平成30年度に予定されている介護報酬と診療報酬との同時改定に向けた議論に資するデータの収集を行う。

2. 調査方法

	調査方法・調査対象・回収状況
①病院・診療所における医療提供の状況	調査票を用いた郵送調査。調査対象は厚生労働省より提供を受けた全国の施設・事業所名簿をもとに抽出した。
1) 介護療養型医療施設(施設票)	【母集団】1,292施設 【発出数】悉皆(被災地域を除く、以下事業所調査は同様)、1,211施設 【回収数】548施設 【回収率】45.3% 【有効回収数】543施設 【有効回収率】44.8%
2) 医療療養病床を有する医療施設(施設票)	【母集団】4,018施設 【発出数】無作為抽出、2,000施設 【回収数】653施設 【回収率】32.7% 【有効回収数】639施設 【有効回収率】32.0%
3) 入院患者票	【対象】1)のうち、病院は半数を対象に調査日の入院患者のうち10分1、診療所は全数を対象に調査日の入院患者のうち2分の1を調査対象とした。2)のうち、病院は3分の1を対象に調査日の入院患者のうち10分1、診療所は全数を対象に調査日の入院患者全数を調査対象とした。【有効回収数(合計)】3,213人
4) 退院患者票	【対象】1)のうち、病院(全数)は3週間の調査期間、2)のうち病院(全数)は1週間の調査期間、1)と2)の診療所(全数)は3か月の調査期間で、退院患者全数を調査対象とした。【有効回収数(合計)】2,293人
5) 自治体調査票	【母集団】都道府県、政令市、中核市 計114団体 【発出数】悉皆、114団体 【回収数】114団体 【回収率】100.0% 【有効回収数】114団体 【有効回収率】100.0%
②訪問看護調査	調査票を用いた郵送調査。特に、病院・診療所が実施する訪問看護の実態を把握するため、①の医療施設を対象として調査を行うとともに、訪問看護ステーションを対象に調査を実施し、病院・診療所併設の訪問看護ステーションおよび併設以外の訪問看護ステーションと比較することを目的とした。
病院・診療所	【対象】①の1)と2)の全施設 【発出数】3,211施設【有効回収数】227施設 ※1)と2)が重複する場合は1部のみ有効
訪問看護ステーション票	【母集団】8,632事業所(名簿は厚生労働省より提供) 【発出数】無作為抽出、600事業所 【回収数】394事業所 【回収率】65.7% 【有効回収数】382施設 【有効回収率】63.7%

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

3. 調査結果概要

1) 回答施設の基本情報

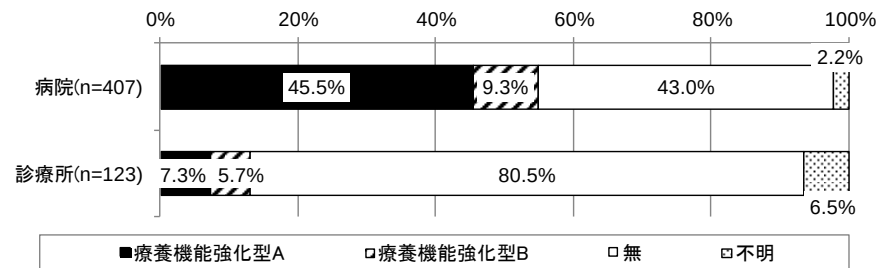
- 介護療養型医療施設調査の回答病院（以下、介護療養・病院）の全病床数は平均166.8床、介護保険適用の療養病床数は平均56.2床であった。
- 介護療養型医療施設の診療所（以下、介護療養・診療所）の介護保険適用の療養病床数は平均8.8床であった。
- 医療療養病床を有する医療施設調査の回答病院（以下、医療療養・病院）の全病床数は平均161.4床、医療保険適用の療養病床数は平均71.5床であった。
- 医療療養病床を有する医療施設の回答診療所（以下、医療療養・診療所）の医療保険適用の療養病床数は平均8.2床であった。

図表2-2-6 病床数

	件数	平均	標準偏差	中央値
【介護療養調査】				
病院の全病床数	407	166.8	125.8	130.0
うち、介護保険適用の療養病床数	407	56.2	48.5	43.0
診療所の全病床数	123	17.9	2.6	19.0
うち、介護保険適用の療養病床数	123	8.8	4.2	8.0
【医療療養調査】				
病院の全病床数	481	161.4	120.2	129.0
うち、医療保険適用病床数	481	71.5	61.9	53.0
診療所の全病床数	96	17.9	3.1	19.0
うち、医療保険適用病床数	96	8.2	5.6	6.0

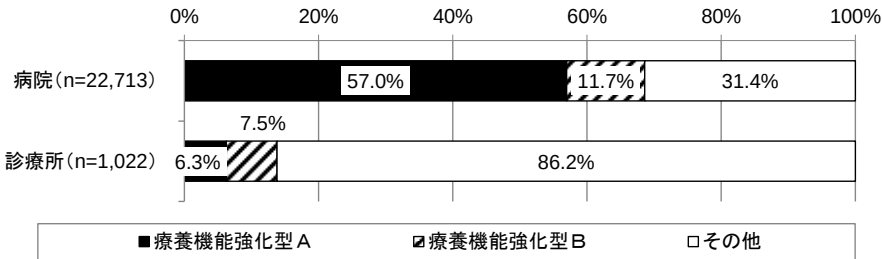
- 介護療養・病院の施設数について、「療養機能強化型A」は45.5%、「療養機能強化型B」は9.3%であった。

図表2-2-29 【介護療養】療養機能強化型の届出の状況（施設数ベース）



- 介護療養・病院の病床数について、「療養機能強化型A」は57.0%、「療養機能強化型B」は11.7%であった。

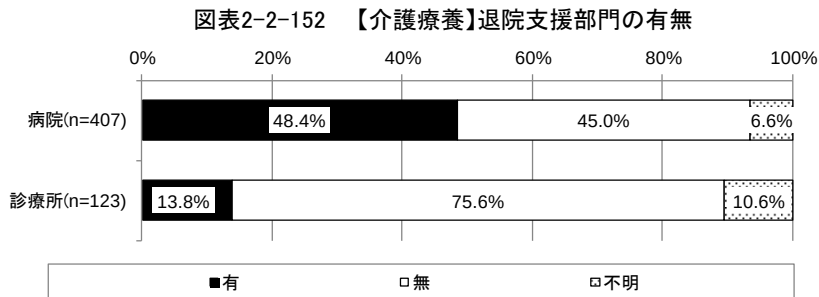
図表2-2-30 【介護療養】介護療養病床数の療養機能強化型の届出状況別の割合（病床数ベース）



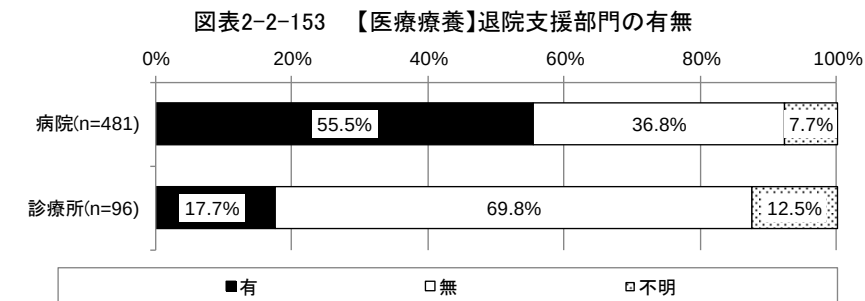
(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

2) 退院支援部門や訪問看護の実施の有無

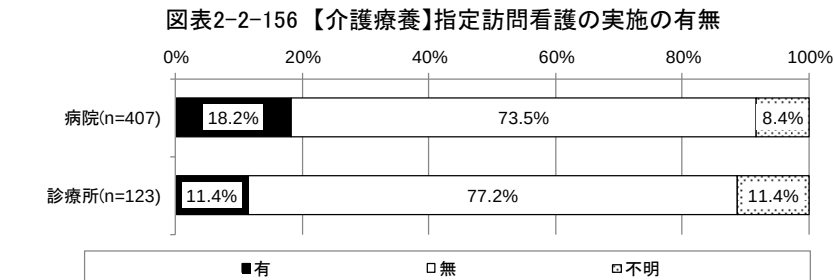
○「退院支援部門」が有る介護療養・病院は48.4%、介護療養・診療所は13.8%であった。



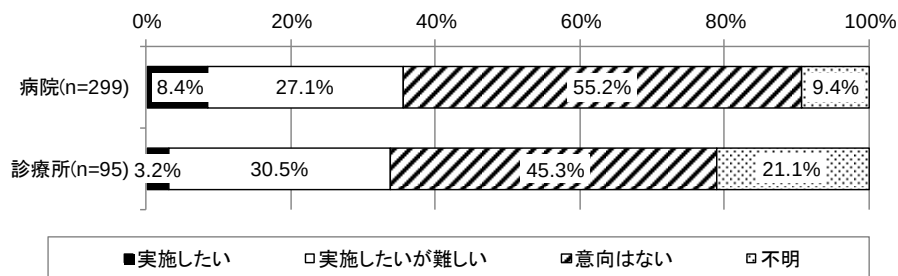
○「退院支援部門」が有る医療療養・病院は55.5%、医療療養・診療所は17.7%であった。



○介護療養・病院で、指定訪問看護を実施している施設は18.2%であった。実施していない場合、今後の実施意向は、介護療養・病院では、「実施したい」が8.4%、「意向はない」が55.2%であった。

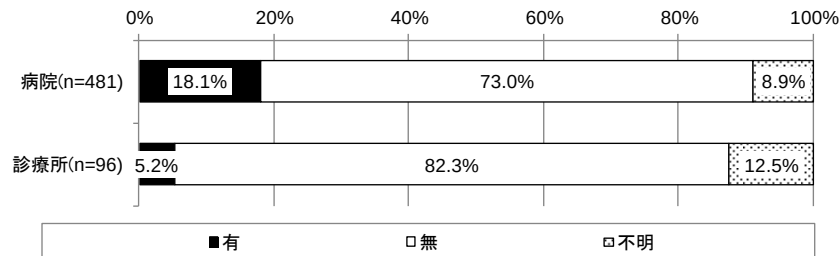


図表2-2-164 【介護療養】今後の訪問看護の実施意向

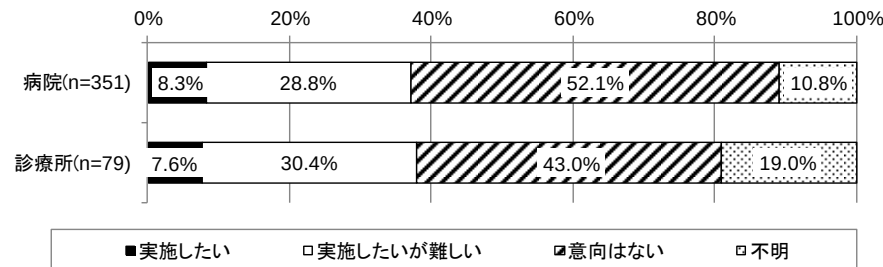


○医療療養・病院で、指定訪問看護を実施している施設は18.1%であった。実施していない場合、今後の実施意向は、医療療養・病院では、「実施したい」が8.3%、「意向はない」が52.1%であった。

図表2-2-157 【医療療養】指定訪問看護の実施の有無



図表2-2-165 【医療療養】今後の訪問看護の実施意向

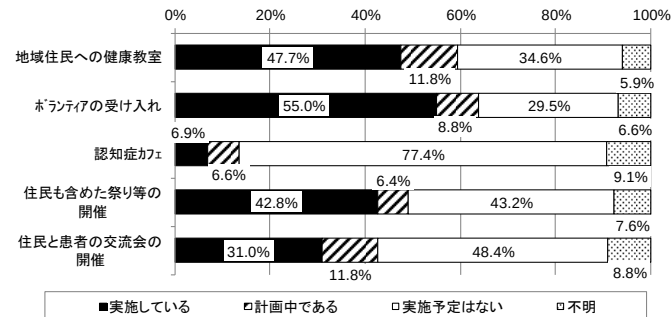


(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

3) 地域に貢献する活動

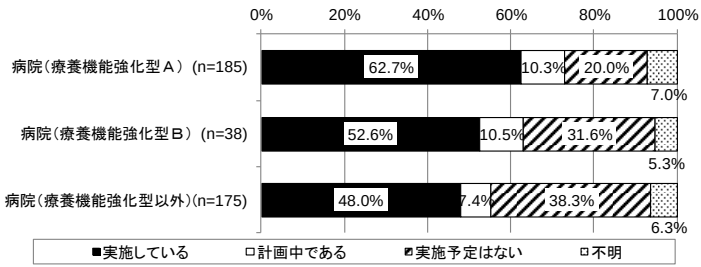
○介護療養・病院において、ボランティアの受け入れを実施している施設が55.0%、地域住民への健康教室を実施している施設が47.7%であった。

図表2-2-170 【介護療養(病院)】地域貢献活動の実施状況(n=407)

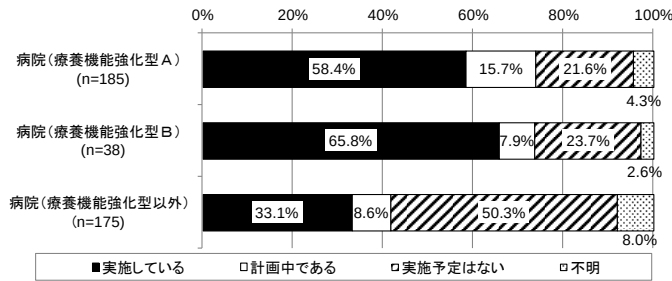


○ボランティアの受け入れや地域住民への健康教室の実施等の地域活動について、療養機能強化型のほうが療養機能強化型以外と比べて実施率が高かった。

図表2-2-173 【介護療養・病院】ボランティアの受け入れの実施状況(療養機能強化型の届出の状況別)



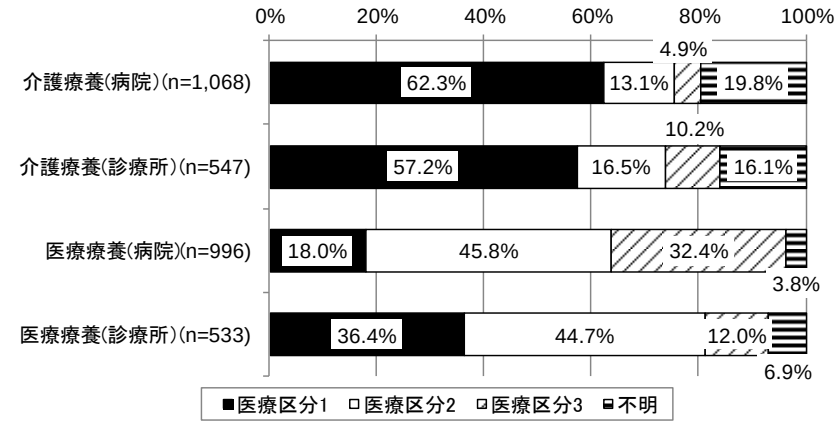
図表2-2-172 【介護療養・病院】地域住民への健康教室の実施状況(療養機能強化型の届出の状況別)



4) 入院患者の状況

○入院患者の医療区分は、介護療養・病院では「医療区分1」が62.3%、医療療養・病院では18.0%であった。

図表2-3-50 【入院患者】医療区分



○入院患者への処置の実施状況について、介護療養・病院では、「排便」「浣腸」「経鼻経管栄養」「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」で医療療養・病院より実施率が高かった。

図表2-3-104より抜粋(上位8位まで) 【入院患者】その他の処置等の実施状況(複数回答)

	合計	喀痰吸引	排便	経鼻経管栄養	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	浣腸	カテーテルの管理	静脈内注射	酸素療法
介護療養(病院)	1,068	322	261	260	229	218	127	94	39
	100.0%	30.1%	24.4%	24.3%	21.4%	20.4%	11.9%	8.8%	3.7%
介護療養(診療所)	547	110	157	73	101	51	97	59	25
	100.0%	20.1%	28.7%	13.3%	18.5%	9.3%	17.7%	10.8%	4.6%
医療療養(病院)	996	412	198	191	190	165	189	137	240
	100.0%	41.4%	19.9%	19.2%	19.1%	16.6%	19.0%	13.8%	24.1%
医療療養(診療所)	533	114	92	75	57	75	83	100	61
	100.0%	21.4%	17.3%	14.1%	10.7%	14.1%	15.6%	18.8%	11.4%

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

○入院患者の退院時期の目標をたずねたところ、介護療養・病院の入院患者では、「退院が困難」という回答が85.5%であった。退院が困難な理由は、介護療養・病院では、「在宅支援体制が整っていないため」が38.3%、「治療中のため」が22.3%であった。医療療養・病院では、「治療中のため」が40.2%、「在宅支援体制が整っていないため」が25.6%であった。

図表2-3-156 【入院患者】退院時期の目標

	合計	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	退院は困難	不明
介護療養(病院)	1,068	16	16	33	61	913	29
	100.0%	1.5%	1.5%	3.1%	5.7%	85.5%	2.7%
介護療養(診療所)	547	17	6	9	27	468	20
	100.0%	3.1%	1.1%	1.6%	4.9%	85.6%	3.7%
医療療養(病院)	996	59	55	40	49	753	40
	100.0%	5.9%	5.5%	4.0%	4.9%	75.6%	4.0%
医療療養(診療所)	533	54	30	10	18	407	14
	100.0%	10.1%	5.6%	1.9%	3.4%	76.4%	2.6%

※網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

図表2-3-201 【入院患者】「退院は困難」である理由

	合計	治療中のため	在宅支援体制が整っていないため	施設の入所待たのため	ターミナルのため	その他	不明
介護療養(病院)	913	204	350	49	170	86	54
	100.0%	22.3%	38.3%	5.4%	18.6%	9.4%	5.9%
介護療養(診療所)	468	64	217	22	50	64	51
	100.0%	13.7%	46.4%	4.7%	10.7%	13.7%	10.9%
医療療養(病院)	753	303	193	33	81	62	81
	100.0%	40.2%	25.6%	4.4%	10.8%	8.2%	10.8%
医療療養(診療所)	407	169	129	8	39	24	38
	100.0%	41.5%	31.7%	2.0%	9.6%	5.9%	9.3%

※網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

5) 退院患者の入退院の状況

○退院患者の入院(棟)前の状況は、介護療養・病院では「他の病棟」が39.4%、介護療養・診療所では「本人の家」が30.6%、医療療養・病院では「他の病院」が35.2%、医療療養・診療所では「本人の家」が57.2%であった。

図表2-3-141 【退院患者】入院(棟)前の状況

	合計	本人の家	他の病院	他の病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム
介護療養(病院)	903	118	339	356	2	41	10	5
	100.0%	13.1%	37.5%	39.4%	0.2%	4.5%	1.1%	0.6%
介護療養(診療所)	134	41	40	34	0	2	1	2
	100.0%	30.6%	29.9%	25.4%	0.0%	1.5%	0.7%	1.5%
医療療養(病院)	891	205	314	224	8	37	26	15
	100.0%	23.0%	35.2%	25.1%	0.9%	4.2%	2.9%	1.7%
医療療養(診療所)	311	178	72	18	1	3	10	6
	100.0%	57.2%	23.2%	5.8%	0.3%	1.0%	3.2%	1.9%

	サービス付き高齢者向け住宅	養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	その他	不明
	6	0	1	10	2	13
	0.7%	0.0%	0.1%	1.1%	0.2%	1.4%
	1	0	2	2	2	7
	0.7%	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%	5.2%
	5	5	1	13	5	33
	0.6%	0.6%	0.1%	1.5%	0.6%	3.7%
	5	2	1	2	1	12
	1.6%	0.6%	0.3%	0.6%	0.3%	3.9%

※網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

○退院先は、介護療養・病院では「死亡による退院」が46.8%、医療療養・病院では44.0%であった。
また、介護療養・病院では「他の病院・病棟」が26.0%、介護療養・診療所では「他の病院・病棟」が27.6%であった。本人の家はそれぞれ8.0%、14.2%であった。
医療療養・病院では、「本人の家」が22.4%、医療療養・診療所では「本人の家」が47.3%であった。

図表2-3-162 【退院患者】退院先

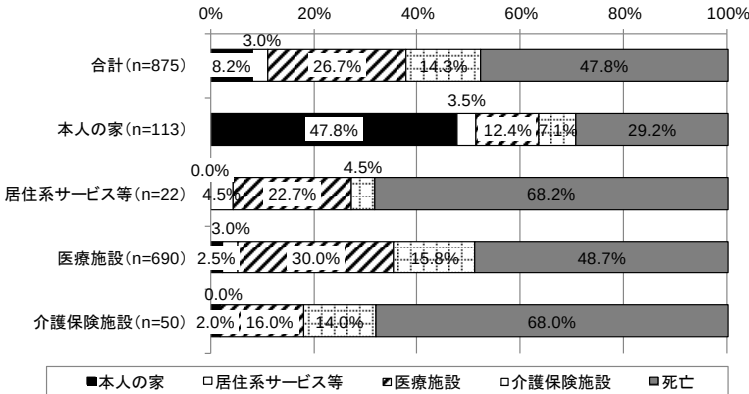
	合計	本人の家	他の病院・病棟	他の診療所	老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
介護療養(病院)	903	72	235	1	63	64	15	4
	100.0%	8.0%	26.0%	0.1%	7.0%	7.1%	1.7%	0.4%
介護療養(診療所)	134	19	37	0	4	10	1	0
	100.0%	14.2%	27.6%	0.0%	3.0%	7.5%	0.7%	0.0%
医療療養(病院)	891	200	123	1	52	39	20	9
	100.0%	22.4%	13.8%	0.1%	5.8%	4.4%	2.2%	1.0%
医療療養(診療所)	311	147	41	0	8	13	10	7
	100.0%	47.3%	13.2%	0.0%	2.6%	4.2%	3.2%	2.3%

養護老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	死亡による退院	その他	不明
2	1	4	423	6	13
0.2%	0.1%	0.4%	46.8%	0.7%	1.4%
0	1	2	51	2	7
0.0%	0.7%	1.5%	38.1%	1.5%	5.2%
7	3	8	392	5	32
0.8%	0.3%	0.9%	44.0%	0.6%	3.6%
2	1	0	74	3	5
0.6%	0.3%	0.0%	23.8%	1.0%	1.6%

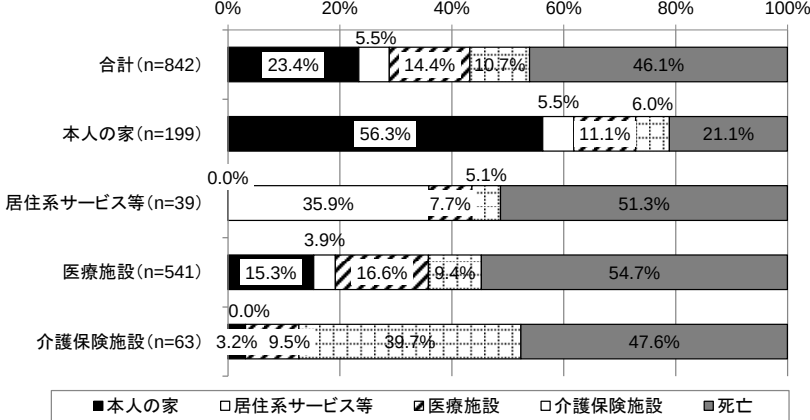
※網掛けは、選択が多い上位2項目(不明を除く)

○介護療養・病院では、入院(棟)前が本人の家の場合、本人の家へ退院が47.8%であった。医療療養・病院でも、入院(棟)前が本人の家の場合は、本人の家への退院が56.3%であった。
医療療養・病院では、入院(棟)前が医療施設からの転院の場合、「本人の家」への退院が15.3%、「医療施設」が16.6%、「死亡」による退院が54.7%であった。

図表2-3-166 【退院患者(介護療養・病院)】入院(棟)前の状況別の退院先



図表2-3-170 【退院患者(医療療養 病院)】入院前(棟)の状況別の退院先



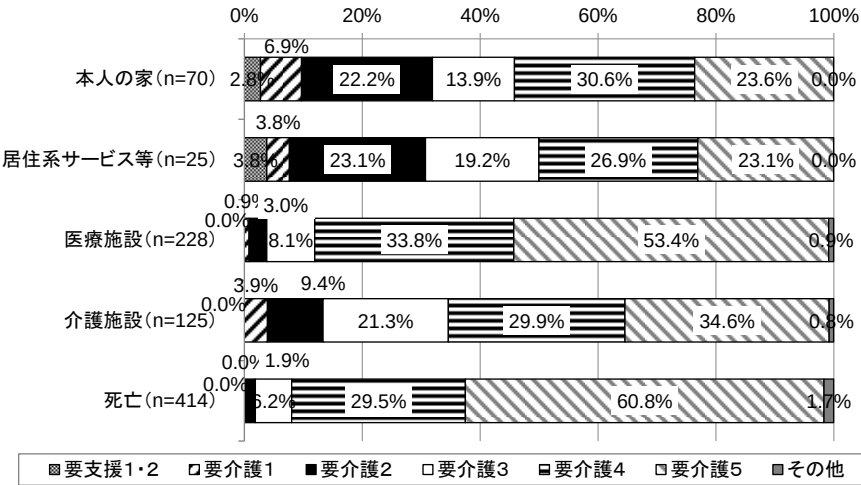
注) 図表2-3-166,170は、図表2-3-162からその他、不明を除いて比率を集計した。

居住系サービス等	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
医療施設	他の病院、自施設の他の病棟、他の診療所
介護保険施設	老人保健施設、特別養護老人ホーム

(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

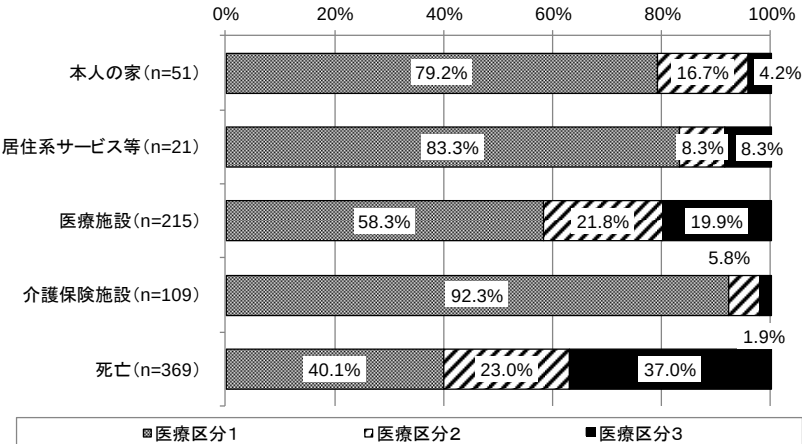
○介護療養・病院の退院患者の退院先別の要介護度は、本人の家への退院の場合「要介護5」は23.6%、医療施設への転院の場合は53.4%であった。「死亡」退院の場合、「要介護5」が60.8%であった。

図表2-3-173 【退院患者(介護療養_病院)】退院先別の要介護度



○介護療養・病院の退院患者の退院先別の医療区分は、本人の家への退院の場合「医療区分1」が79.2%であった。医療施設への転院の場合は「医療区分1」が58.3%と比較的低く、「医療区分3」が19.9%であった。

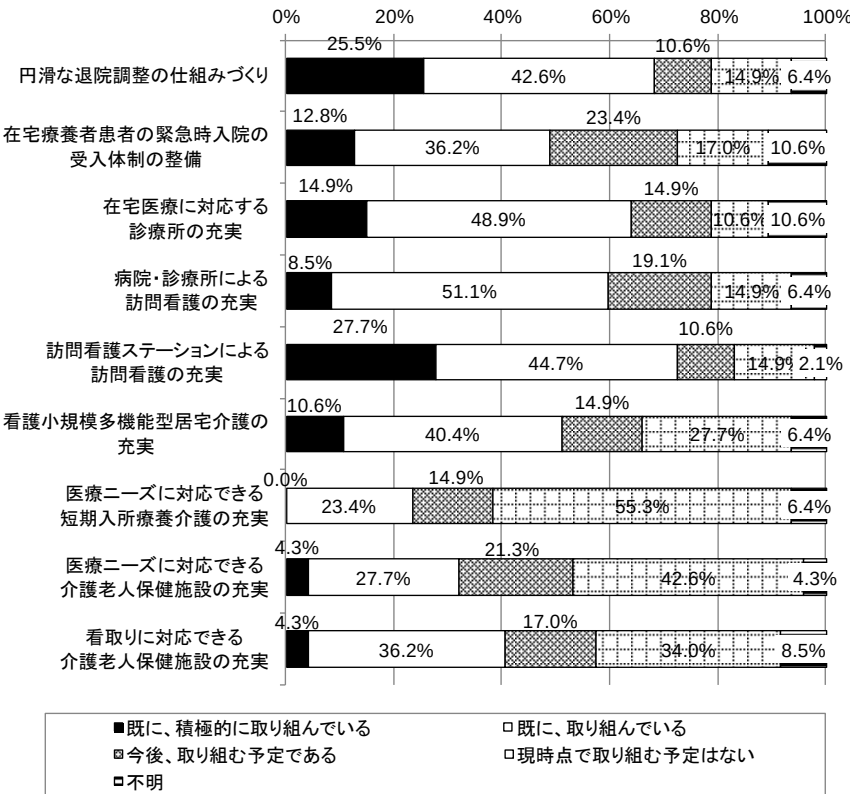
図表2-3-177 【退院患者(介護療養_病院)】退院先別の医療区分



6) 医療ニーズの高い中重度の要介護高齢者の在宅療養生活のサービス・体制の充実に向けた自治体の取り組み

○自治体の取り組みについて、「既に積極的に取り組んでいる」と回答しているものは、「訪問看護ステーションによる訪問看護の充実」が27.7%、「円滑な退院調整の仕組みづくり」が25.5%であった。
一方、「現時点で取り組む予定はない」と回答しているものは、「医療ニーズに対応出来る短期入所療養介護の充実」が55.3%であった。

図表2-4-9 サービス・体制の充実に向けた取組の状況(都道府県)(n=47)

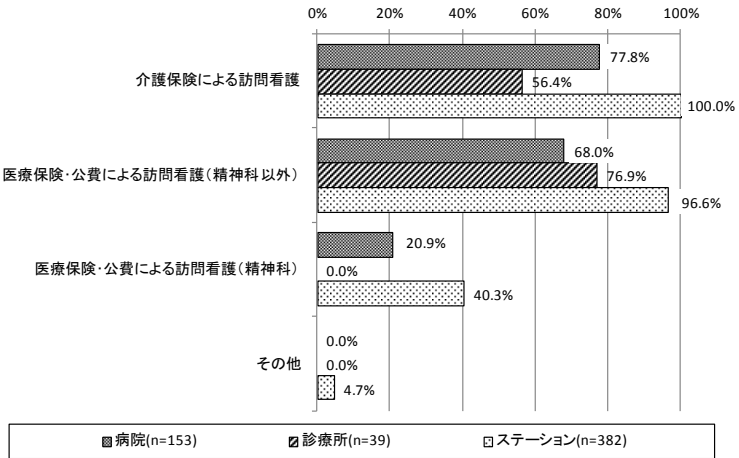


(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業 報告書抜粋

7) 訪問看護事業所の基本情報

○回答病院において「介護保険による訪問看護」を実施している病院は77.8%、「医療保険・公費による訪問看護」は68.0%、「精神科の訪問看護」は20.9%であった。

図表2-5-18 算定保険種別（複数回答）



○介護保険による訪問看護の1事業所あたりの利用者数（平成28年10月分）は、病院では、平均21.9人（中央値で14.0人）、診療所は平均5.9人（同3.0人）、訪問看護ステーションは平均57.5人（同44.5人）であった。利用者のうち、当該病院への入院経験のある利用者は平均11.1人、診療所では2.7人であった

図表2-5-32、36、41、45、50、53より抜粋 平成28年10月の利用者数等

<利用者数>

【介護保険】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	119	21.9	24.4	14.0
診療所	22	5.9	7.0	3.0
ステーション	324	57.5	63.7	44.5

【医療保険】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	103	7.5	9.7	3.0
診療所	30	6.5	10.1	2.0
ステーション	360	16.0	17.5	11.0

【精神科】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	31	37.1	65.0	12.0
ステーション	151	17.1	42.1	3.0

<回答病院・診療所への入院経験がある利用者>

	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	106	11.1	14.3	5.0
診療所	18	2.7	3.7	1.0

	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	91	3.0	4.5	1.0
診療所	24	1.9	3.1	1.0

	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	30	25.3	48.2	4.0

○介護保険による訪問看護の利用者のうち、死亡者数は、病院で平均0.3人、ステーションで平均0.6人であった。

図表2-5-34、43、52より抜粋 死亡者数（平成28年10月）

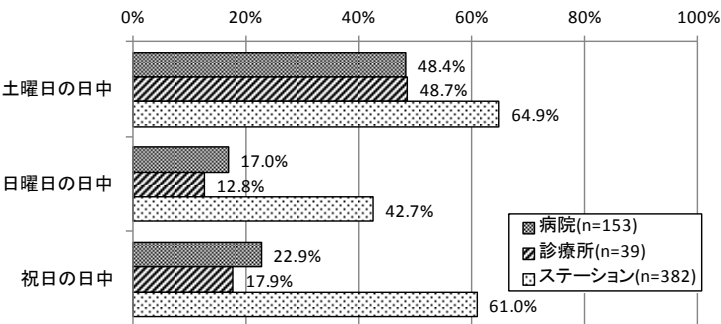
【介護保険】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	100	0.3	0.6	0.0
診療所	15	0.0	-	-
ステーション	290	0.6	0.9	0.0

【医療保険】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	86	0.5	0.7	0.0
診療所	21	0.2	0.4	0.0
ステーション	319	0.7	1.1	0.0

【精神科】	回答件数 (件)	平均値 (人)	標準偏差	中央値 (人)
病院	28	0.1	0.3	0.0
ステーション	129	0.0	0.1	0.0

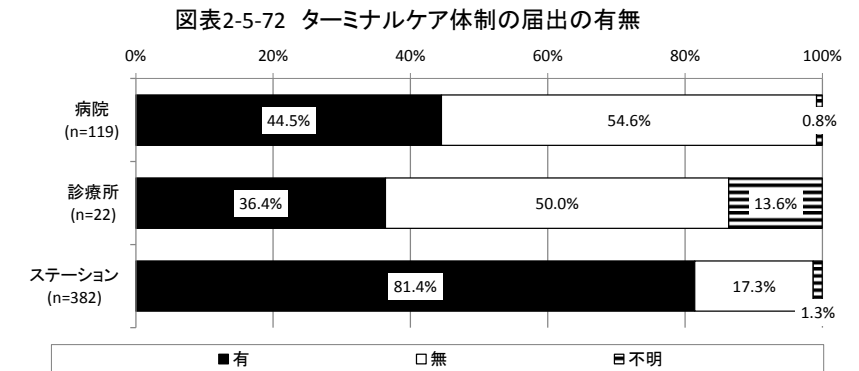
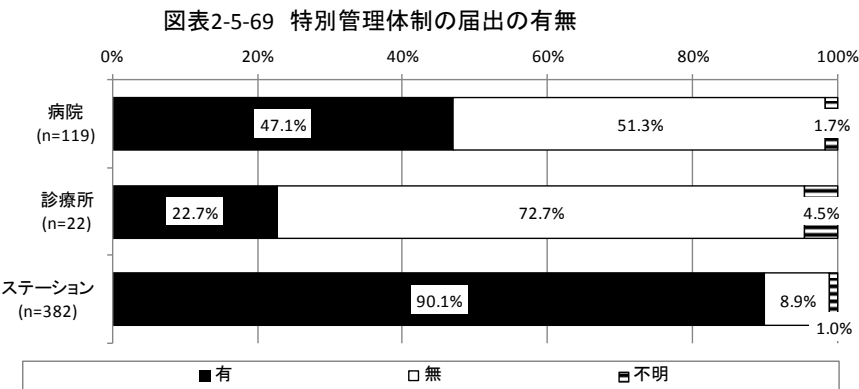
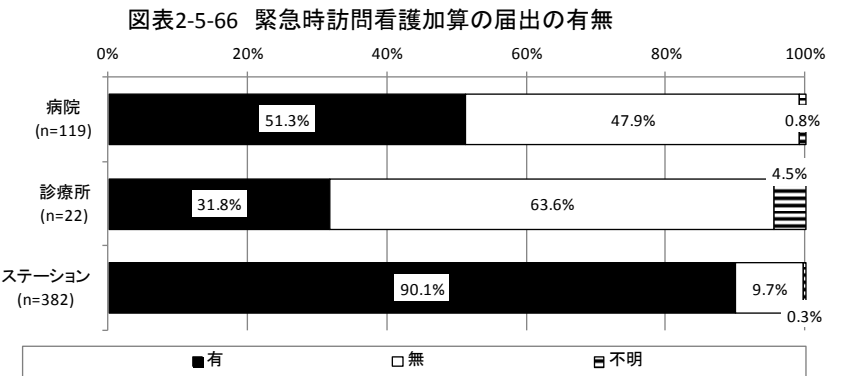
○日曜日の日中の計画的な訪問について、病院は17.0%が実施しており、診療所は12.8%、ステーションは42.7%であった。

図表2-5-83より抜粋 土日祝日の計画的な訪問（複数回答）



(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業 報告書抜粋

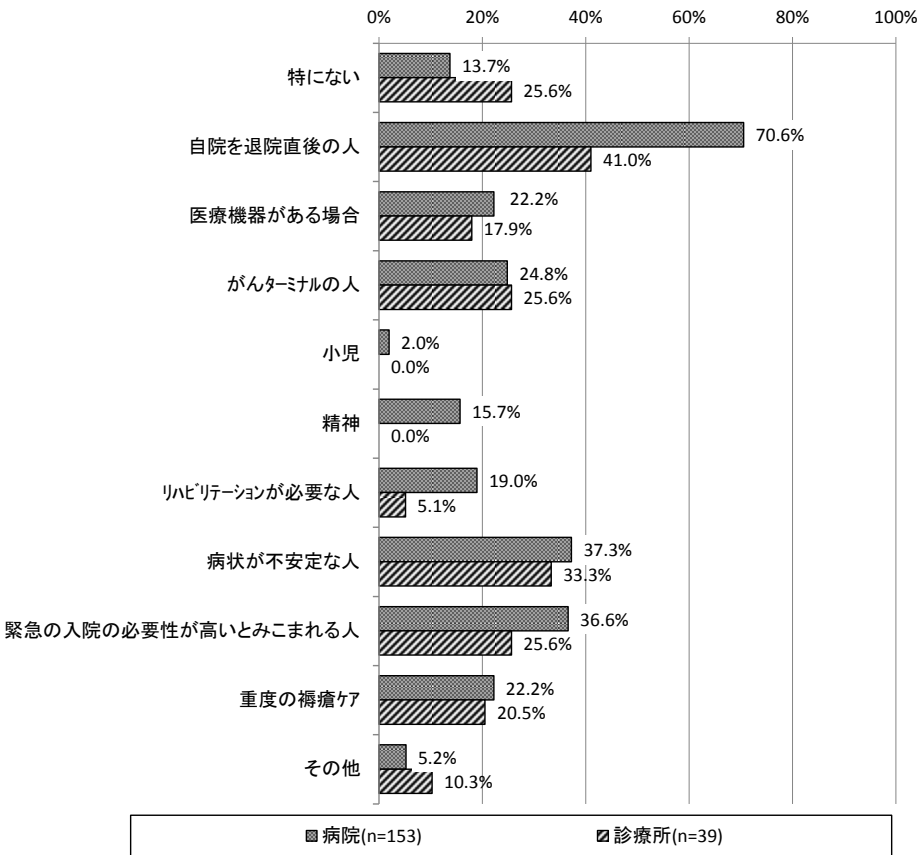
○緊急時訪問看護加算、特別管理体制、ターミナルケア体制等、各種加算の届出について、ステーションで「有」の割合が高かった。



8) 訪問看護における病院等とステーションの役割分担

○病院が自院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考える利用者の状態・状況は、「自院を退院直後の人」が70.6%、「病状が不安定な人」が37.3%であった。

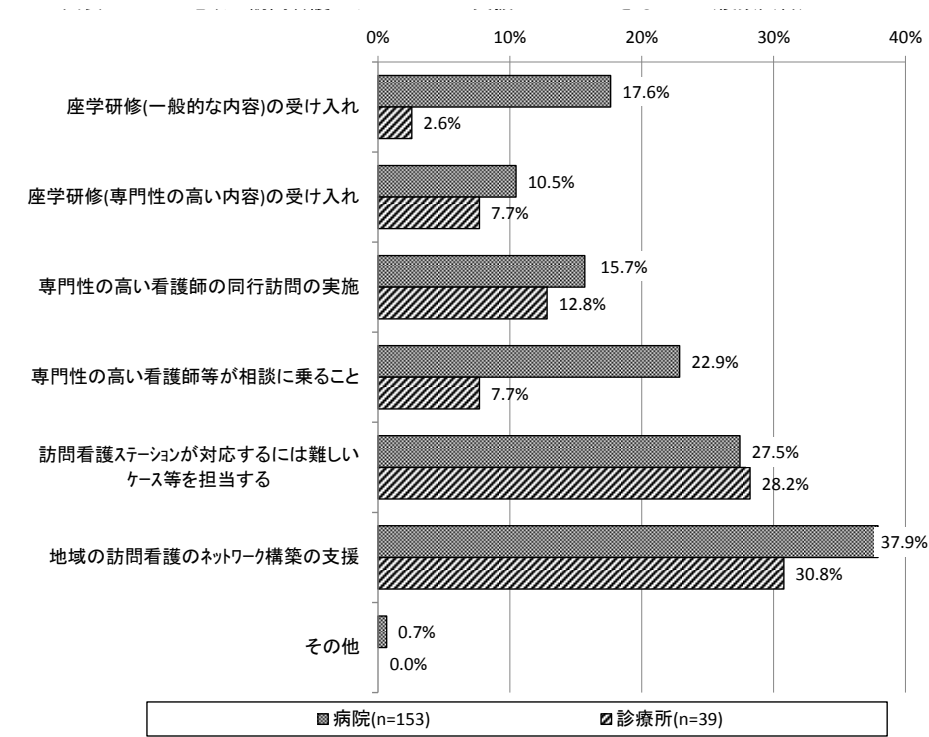
図表2-5-113 地域のステーションではなく、自院で訪問看護を実施したほうがよりよいと考えられる利用者の状態・状況（複数回答）



(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

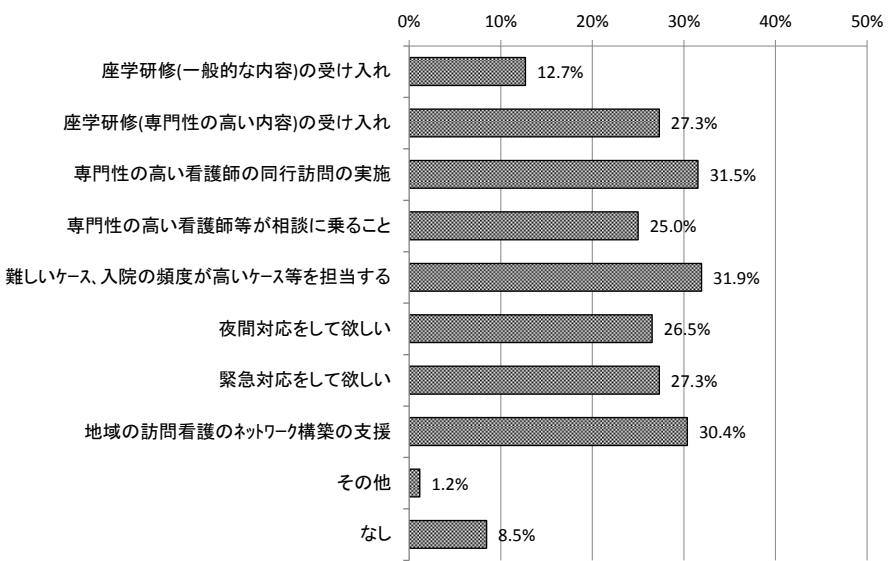
○地域の訪問看護ステーションのためにできることとして「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が37.9%、「専門性の高い看護師の同行訪問の実施」は15.7%であった。

図表2-5-114 地域の訪問看護ステーションの支援のためにできること（複数回答）



○一方、訪問看護ステーションが病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待することは「難しいケース・入院頻度が高いケース等を担当する」が31.9%、「専門性の高い看護師の同行訪問の実施」が31.5%、「地域の訪問看護のネットワーク構築の支援」が30.4%であった。

図表2-5-115 （医療機関併設のステーション以外の場合）
病院・診療所からの訪問看護や医療機関併設型の訪問看護ステーションに期待すること（複数回答）(n=260)

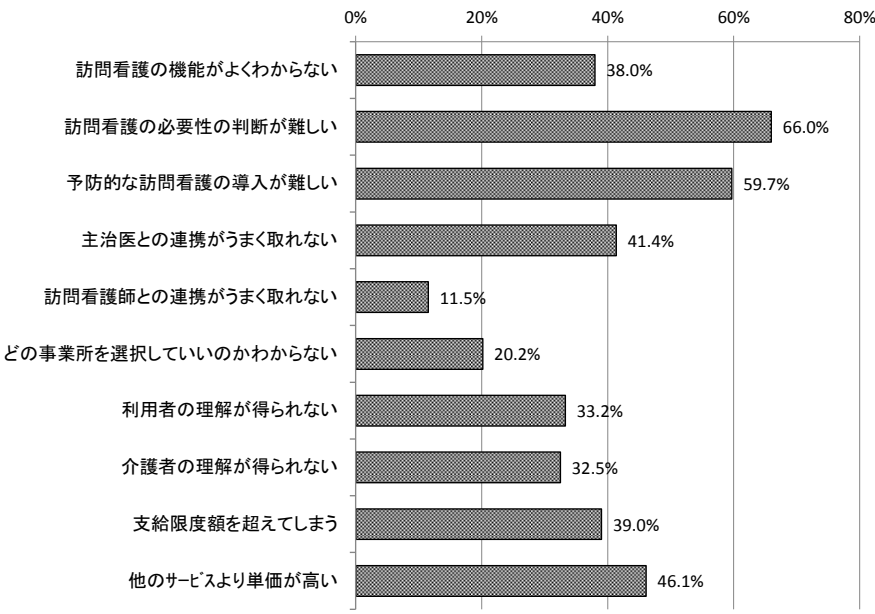


(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業

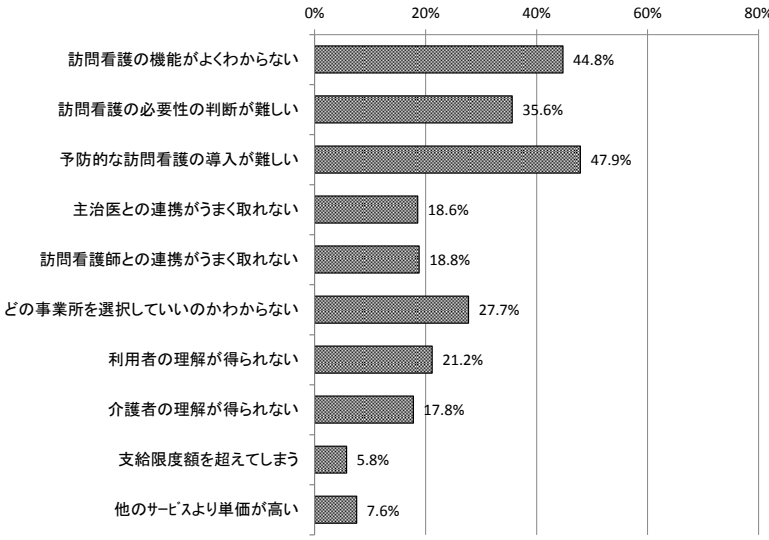
9) 訪問看護の課題

○ステーションからみて、訪問看護を導入するにあたっての介護支援専門員にとっての課題は、「訪問看護の必要性の判断が難しい」が66.0%、「訪問看護の機能がよくわからない」が38.0%、退院元の医療従事者にとっては、「予防的な訪問看護の導入が難しい」が47.9%、「訪問看護の機能がよくわからない」が44.8%、利用者にとっては「訪問看護の機能がよくわからない」が68.8%であった。

図表2-5-118 ステーションからみて、介護支援専門員にとって訪問看護を導入するにあたっての課題（複数回答）（n=382）



図表2-5-119 ステーションからみて、退院元の医療従事者にとって訪問看護を導入するにあたっての課題（n=382）



図表2-5-120 ステーションからみて、利用者にとって、訪問看護を導入するにあたっての課題（n=382）

